



函館市 (株)函館米穀

『北海道産のコメを、香港、オーストラリア等へ』

【主な品目】

コメ(精米)

【主な輸出先国・地域】

香港、オーストラリア、アメリカ等

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆近年の国内需要の低迷から販路拡大を模索。
- ◆2014年(平成26年)に首都圏で開催された商談会に参加した。
- ◆香港バイヤーと契約が成立したことを契機に北海道産のコメ1 トンを輸出した。

【輸出実績】 (平成26年より輸出開始)

	輸出量(t)	出荷時期
平成30年	20	通年
令和元年	40	
令和2年	150	



商品の北海道産米

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 現地バイヤーと相談し、北海道産をアピールできる国内と同じパッケージを使用。
- 販売先との代金決済が不安なため、日本の貿易会社の買取りによる代金決済の実施。
- 現地に強い業者や代行業者による販売促進を行う。
- 地域の「ふっくりんこ」や新規需要米の利用促進。
- 2020年(令和2年)に輸出数量が150トンとなり、輸出先は、香港、オーストラリア、アメリカを中心とした10か国に増え、2015年(平成27年)に比べ15倍と大幅に増加した。



【今後の課題・展望】

- 農林水産省のコメ海外市場拡大戦略PTを通じ、引き続き海外で販促イベントを実施する。
- 海上輸送環境の影響を受けにくい真空包装を導入する。
- 新規需要米の活用や産地とのタイアップ等を推進。
- 2025年(令和7年)の輸出数量目標300トンを目指す。



海外での試食イベント

【活用した支援・施策】 令和2年度補正

新市場開拓に向けた水田リノベーション事業のうち需要創出・拡大整備支援事業

【ウェブサイト】 <http://hakodate-beikoku.co.jp/>

【連絡先】 担当:経営企画室 TEL:0138-42-7041